

内房小学校は、全職員が「一歩前進」を合い言葉に、確かな学力が育つ授業を日々実践し、保護者・地域の教育力も巻き込んで、「富士山を心に、夢をもって生きる子ども」を育てる学校です。

学校教育目標

共に学び合い 力を伸ばす子

- 【本校の育てたい力】
- ①自分の思いを意欲的に表現し、高め合う力
 - ②互いに認め合い協力する力
 - ③自分を振り返り、自分を信じ、愛する力
 - ④明るく元気なあいさつができる力

PLAN

《学校経営目標》

笑顔にあふれ学ぶ楽しさに満ちた学校づくり

DO

ACTION

課題の改善策検討

- 課題について、具体策の再検討をし、更に有効な改善策を提案します。
- ・研修部会
- ・生徒指導部会 等
- ・特別支援委員会 等
- ・職員会議

《お話いっぱい》

- 学び合いを大切にした確かな学力が育つ授業を推進します。
- 生き生きと楽しく学ぶために
 - ・「なぜだろう」「はやく考えたい」と思える学習課題を提示し主体的な学びの姿勢を高めます。
 - ・学びの変容を大切にし、学び合う中で自分の考えを意欲的に表現する力が育つよう、一人一人にあった支援と助言をします。
 - ・学びの過程を大切にし、知りたいことを探究する富士山学習PARTⅡを推進します。
 - 基礎基本の定着のために
 - ・「はげみ学習」の時間に漢字と計算の力を高めます。
 - ・想像力、知識を活かす力を養うための「読書タイム」を定着させ、読書習慣を身につけます。
 - ・学校と家庭の協力による自主学習の習慣をつけます。

分析と評価(成果と課題から)

- 月1回の教師自身による授業分析をします。
- 学年行事・学校行事をPDCAサイクルで分析します。
- 年2回の学校評価(職員・児童・保護者)結果の分析をします。
- ・授業は、よくわかったと実感できる。
- ・相手の気持ちを考え、やさしく楽しい生活ができる。
- ・あいさつやきまりなど学んだことを生かすことができる。
- ・進んで運動をすることができている。
- ・家庭学習の習慣が身についている。
- 年数回の学校評議委員会による評価を行います。
- PTA役員会にて、学校評価結果を開示し、意見交換をします。

授業

《やさしさいっぱい》

- お互いの思いや考えを大切にする心を育成します。
- お互いを認め合う心を育むために
 - ・『自分がかけがえのない存在として認められている』と実感できる学級づくりを推進します。
 - ・仲間との協力で喜びや満足感を実感できる活動や行事を計画し運営します。
 - ・道徳教育を充実し、自尊感情を養います。
 - 礼儀正しくするために
 - ・あいさつのよさを実感し、進んで明るく元気なあいさつをする習慣を身につけます。
 - ・信頼が生まれる丁寧な言葉遣いで話します。
 - ・時間いっぱい活動する、なかよし縦割り班清掃活動に取り組みます。

《運動いっぱい》

- 目標に向かって、粘り強く取り組む力を育成します。
- 体を鍛えるために
 - ・しっかりと目標をもち、新体力テストに取り組むことで、一人一人の体力向上を図ります。
 - ・汗が光る体育授業に取り組めます。
 - ・自主的に朝運動に取り組む時と場を設定します。
 - ・練習方法を工夫し、ソフトボールに全力で取り組みます。
 - やりとげる心を育てるために
 - ・一人一人が運動の目標をしっかりと、達成できるように一人一人にあった支援をしていきます。

CHECK

縦の接続と横の連携の強化

- ☆学校からの情報の発信と受信
- ☆ボランティアの依頼と協力
- ☆芝川中との交流

- ☆PTCA活動の充実
- ☆地域行事への参加
- ☆こども園との交流

- ☆『参加型授業参観』の充実
- ☆学校評価の発信と受信
- ☆家庭学習習慣の定着